

2021年10月29日

報道各位

一般社団法人日本自動車車体補修協会
代表理事 吉野一

JARWAと加計学園は、外国人留学生を対象とする 自動車車体整備士の育成事業を開始します

一般社団法人日本自動車車体補修協会_JARWA（東京都千代田区 吉野一代表理事）と学校法人加計学園_JARWA正会員（岡山県岡山市 加計孝太郎理事長）は、2021年11月1日から、加計学園傘下のグループ校に設置されている留学生別科（日本語教育機関）の外国人留学生を対象に、自動車車体整備士の育成事業を開始します。学生たちは留学生別科修了後、提携する専門学校に進学して自動車整備技術と自動車車体整備技術を身に付けます。

自動車は100年に一度の大変革期を迎えていますが、自動車整備士・自動車車体整備士の人材の確保は年々厳しさを増しています。自動車整備業界では、対策として国の外国人技能実習制度及び特定技能を活用した外国人人材の確保を模索していますが、残念ながら自動車車体整備人材については、これら制度の適用範囲外となっています。

また一方で、自動車車体整備には「2020年4月に施行された改正車両法により事業における自動車整備と自動車車体整備の明確な区別がなくなりつつある」「車両の高度化により自動車車体整備士に求められる基本的なスキルが急速に変化している」などの課題もあり、これらも見過ごすことはできません。

さて、これらの課題について、これまでJARWAは、教育委員会内に専門WGを設置して関係各所と慎重な議論を重ねて参りましたが、この度、加計学園が構築する「外国人留学生を対象に日本語N2資格の取得から整備士資格（二級自動車整備士資格及び自動車車体整備士資格）の取得までを一つの流れで行う教育スキーム」と、JARWAが構築する「会員企業を中心にインターン先や就職先を斡旋するスキーム」とを有意に組み合わせることで課題解決を図る、との結論を得ました。

具体的には2022年4月に加計学園傘下の千葉科学大学（千葉県銚子市 木曾功学長）留学生別科に入学する外国人留学生から本事業をスタートいたします。

尚、関係各所の具体的な役割分担は下記のとおりです。

<関係各所の具体的な役割分担>

- ① 加計学園傘下の千葉科学大学に設置されている留学生別科（日本語教育機関）が、自動車整備及び自動車車体整備の専門用語を含む日本語教育を実施する。
- ② 提携する専門学校で、二級自動車整備士資格及び自動車車体整備士資格の両方の資格の取得をゴールとする教育を行う。
- ③ JARWAが、会員企業を中心にインターン先や就職先を斡旋する。

※本取り組みが適法であることは法務省入国管理局にて確認済みです。

以上

■学校法人加計学園

HP : <https://www.kake.ac.jp/>

■千葉科学大学

HP : <https://www.cis.ac.jp/>

一般社団法人 日本自動車車体補修協会 担当事務局 飯塚 東京都千代田区神田佐久間町4-6 斎田ビル5F TEL) 03-5829-4811 FAX) 050-3153-2056
